

# 知的、発達障がい者 e スポーツ交流プログラム

## 【実施報告書】



2026年1月

一般社団法人全日本知的障がい者スポーツ協会

**ANISA**  
All Nippon ID Sport Association

## <はじめに>

近年、スポーツの新たなトレンドとしてeスポーツ（Electronic sports）が注目を集めています。eスポーツは、年齢、性別、障がいの有無に関わらず、誰もが参加できるスポーツであり、共生社会の実現、多様な主体におけるスポーツ機会の創出に貢献する可能性を秘めています。一般的に、知的障がい者や発達障がい者（自閉症を含む）は、他者との円滑なコミュニケーションに関して、苦手意識を持つ事が多いとされています。一方、他者との交流は、その過程で獲得される、能力や態度および今後の生活に大きな影響を与え、その後の人生が豊かになる一助になる事が期待されます。つまり如何にしてコミュニケーション力を育むかを考えた場合、程よい距離感を保ちつつ、ゲームという媒体を通じ、自己肯定感などを育む事が可能なeスポーツは、大きな役割を果たし、そのような場（大会）を継続的に提供する事は社会的意義が大きいと考えられます。

現在、日本パラスポーツ協会内においても、eスポーツを主とする競技団体は存在しておらず、日本の知的障がい者スポーツを統括する当団体が、その担い手としての役割を示す事は非常に重要であり期待されています。また、特にアジア圏において、eスポーツは活発に開催されており、当該者が新たな活躍の場として、スポーツ通じたQOL向上に寄与するものと大いに期待しております。

そこで、当協会は、日本で初めてとなる、知的障がい者、発達障がい者（自閉症を含む）のための国内唯一のeスポーツ大会（プログラム）の継続的な実施を目指します。そして、次年度以降、韓国や台湾などのアジアからの参加を促し、規模の拡大に務めます。

最後に、同プログラムは、糸満市が共催となり、eスポーツ大会だけでなく、講演会も予定されています。更に翌日には糸満市の名所（ひめゆりの塔等）を巡る観光プログラムも実施するなど、内容は盛りだくさんです。

同プログラムを通じて、友情の「輪」も広がることを切に期待しております。

一般社団法人全日本知的障がい者スポーツ協会  
会長 斎藤 利之

## 【1】 日程

<12月26日（金）>

18時～22時：会場準備

### ○沖縄組

18時前までに必要な機材などを予め準備し、開場と共に、くくる系満のスタッフと連携しながら準備作業を開始。

### ○東京組

18時に那覇空港着。空港からそのまま会場へ移動。導線のチャックや運営方法などについて再度確認。

### ○糸満市役所

事前に、必要な人員配置などを確認。

## 【2】 参加者

○事前申し込み：17名

○当日キャンセル：4名

○当日申し込み：1名

●当日参加者：14名（内、沖縄県外2名）

●延べ参加者数：21名

■講演会：30名

参加者は以下の通りとなります。★は、沖縄県外

名前	性別	障がい特性 （申請ベース）	プヨプヨ	ストリート ファイター
長田 涼太	男	知的障がい・自閉症	○	○
大城 孝太	男	知的障がい・自閉症	×	○
又吉 恭平	男	知的障がい・自閉症	○	○
大城 亮一	男	知的障がい・自閉症	○	○
吉原 栄気	男	知的障がい・自閉症	×	○
大城 天	男	知的障がい・自閉症	×	○
福治 莉久	男	知的障がい・自閉症	○	×
仲里 太一	男	知的障がい・自閉症	○	×
伊志嶺ジェイスブラジル	男	知的障がい・自閉症	○	×
多良間 空翔	男	知的障がい・自閉症	○	○
大城 悠良	男	知的障がい・自閉症	○	×
小禄 亮	男	知的障がい・自閉症	○	○
★大谷 春樹	男	知的障がい・自閉症	○	○
★平石 旺雅	男	知的障がい・自閉症	○	○
合計			11	10

### 【3】 プログラムスケジュール

#### <12月27日>

08:30～09:00 スタッフ集合（打ち合わせ）  
09:00～09:45 選手ウォーミングアップ（自由）  
09:45～10:00 式典準備  
10:00～10:05 開会あいさつ（斎藤）  
10:05～10:10 来賓あいさつ（糸満市長）  
10:10～10:15 大会アンバサダー挨拶（Gorou選手）  
10:15～10:25 大会ルール説明（手登根）  
10:25～10:30 大会準備  
**10:30～12:30 予選大会**

昼食休憩

12:45～13:30 講演会（斎藤）  
13:30～13:35 大会準備  
**13:35～15:00 決勝**  
15:00～15:15 Gorou 選手とのエキシビジョン  
15:15～15:30 表彰式  
15:30～15:35 閉会の挨拶  
15:35～15:40 記念撮影  
15:40～16:30 片付け撤収  
16:30～ 解散

#### <12月28日>

08:45～ モニター（3名）をホテルでピックアップ  
09:00～10:00 沖縄県平和記念資料館  
10:00～10:45 ひめゆりの塔  
10:45～11:30 琉球ガラス村  
11:30～13:15 糸満市道の駅（食事）  
13:15～13:45 那覇空港  
13:45～16:00 首里城（モニター組のみ）  
16:00～ 解散

#### 【4】 得られた成果

2024年12月頃の約1年前から会場となります「糸満市」と連携・協力の話を進めて参りましたが、今回、すべてが初めての経験であったため、特に補助金の申請手続きなどに多くの時間を取られてしまいました。その結果、苦渋の選択ではありましたが、最終的（プログラム2週間ほど前）に補助金を断念する方向で決定しました。しかし、上述の通り、1年かけて「糸満市」様と密に情報共有などをおかげで、補助金の活用は行わないが、すでに決定していた「共催」の承認は取り消さないとのご判断を頂きました。ここに改めて感謝を申し上げます。

さて、実際のプログラムですが、最も心配していたのが人的リソースです。ただ、結果的に参加者数が予想の半分程度となり、市役所の職員さま（8名）が加勢して頂いたおかげで、運営自体への影響はなかったのではないかと思います。もちろん、本番当日に、混乱しないように事前の準備が完璧だったことも要因としてありますが、同プログラムのサイズ感として、適正な人員配置だったと感じております。

しかし、事前の準備に関しては、最後まで、機材の購入、ポスター・チラシの完成など、厳しい状況であったことは変わらず（補助金の本採択の時期が影響している）、次回以降の反省点としたいと思います。

次に運営面での気づきとして、参加者の特性を捉えた柔軟な対応が挙げられると思います。今回のスタッフは基本的に、知的障がいや発達障がいを支援にしている者が多かったため、臨機応変な対応が出来たと思います。特に特徴的だったのは、当日、会場の大きさを見て、現場でキャンセルをするという参加者に対して、スムーズな案内とその後の対戦表の変更・修正に関して、短時間で対応できたことは経験がなせる業であり、素晴らしかったと思います。そして、檀上への誘導も全く無駄のない支援だったかと思います。ただ、今後、今回以上の参加者になった場合、同様の対応ができるか、また、対戦スペースの確保など次回への課題としたいと思います。

いずれにしても、参加者の皆さんが大変楽しく競技され、運営者側がほっこりする場面が何度もありました。また、保護者様のご様子も間近で感じることができ、大変満足しております。

一方、講演会ですが、こちらも参加者募集同様に、事前告知がどれほど浸透していたか等、若干の懸念はあります。次回は、糸満市のHPなども活用するなど、確実な事前告知の方法を確立したいと思います。テーマ（内容）については、一定程度、満足頂けたかと思いますが、昼休みの時間帯ということもあり、少々慌ただしく行いました。また、会場内における飲食がNGということもあり、最初の部分を聞けなかったとの声もありますので、今後は、どのタイミングで実施するのが最も有効的かを検証する必要があると感じました。

最後に、観光（文化交流）に関しては、参加者は本州からのモニター（3名）様のみということもあり、こじんまりとしたものとなりましたが、4か所（沖縄県平和資料館・ひめゆりの塔・琉球ガラス村・首里城）を回ることもでき、モニター様からは、大変満足でしたとの感想を頂きました。今後、本州からの参加者が増えた場合、当初予定していたバスの利用なども含め、糸満市観光協会様と連携を強化していきたいと思います。

## 【5】 Gorou 選手他の感想

この度は、第1回大会のアンバサダーとして参加の機会を頂けたことを大変有難く思っております。本大会の参加者一人ひとりが、真剣に、そして楽しそうに競技と向き合う姿を見て、知的障がい者スポーツの種目として「e スポーツ」を行うことの可能性と意義を改めて感じることができました。しかし、1回目と言うこともあり、セティングや進行方法など、改善できる点も見られたと感じています。例えば、事前練習会や敗戦後も自由に対戦・交流が出来る場を設ける等、参加者同士が交流を深める場を創ることで、より盛り上がり、充実した大会に成長させられるのではないかと考えています。

(Gorou 選手)

これまで、知的障がいのある方と関わる機会が少なく、最初は接し方に不安もありましたが、皆さんが生き生きと大会を楽しみ、勝つために工夫しながらプレイする姿に触れ、自然と私自身もイベントを楽しんでいました。ゲームを理解し、真剣に向き合う姿は、誰もが同じであり、その様子をみる親御さんの喜びも印象的でした。ゲームを通じて、互いを理解し関わる機会が広がれば、より良い社会に繋がると感じました。

(所属先代表)

## 【6】 モニター参加者の感想（代表者）

### 1. 同行者

知的障がいのある選手 2 名（保護者 1 名）

### 2. 視察の目的

本視察は、知的障がい・発達障がいのある方々が e スポーツを通じて社会参加の機会を広げることを目的とし、競技環境、参加者の様子、運営体制等を確認するために視察（体験）した。また、将来的な大会参加に向けた動機づけや、移動・交流を含む総合的な学びの場としての可能性を検討した。

### 3. 視察内容

#### （1）大会会場および競技の様子

- ・選手は楽しそうに競技へ取り組み、誰もが楽しめる大会であった。
- ・観客や応援者も熱心に見守り、会場全体が一体となって盛り上がっていた。
- ・競技タイトル（ぷよぷよ、ストリートファイター6）において、参加者が自分の得意分野を活かし、真剣に取り組む姿が印象的であった。

#### （2）同行選手の様子

- ・沖縄というリゾート地ならではの開放的な雰囲気の中で、同行選手はリラックスして大会を見学、参加していた。
- ・公共交通機関を利用した移動を通じ、社会的スキルや自立に向けた学びの機会を得ることができた。
- ・他の参加者や関係者との交流を通じ、仲間づくりや新たな出会いの可能性が広がった。

#### （3）大会がもたらす教育的効果

- ・明確な目標（大会出場）を持つことにより、日々の練習への意欲向上が期待できる。
- ・得意分野を伸ばす経験が自己肯定感の向上につながる。
- ・競技に取り組む選手の笑顔が多く見られ、e スポーツが自己表現の場として有効であることを確認した。

#### 4. 考察

本視察を通じ、e スポーツが知的障がいのある選手にとって、

- ・ 社会参加
- ・ 自己成長
- ・ 仲間とのつながり
- ・ 自立に向けた学び

といった多面的な価値を持つことが明らかとなった。また、障がいの有無に関わらず同じ舞台で競技を楽しめる点は、共生社会の実現に向けた重要な要素であると考えられる。

#### 5. 感想

沖縄県糸満市で開催された知的障がい者向け e スポーツ大会を、選手 2 名とともに視察（体験）した。競技の様子を通して、得られる成長の可能性を強く感じたほか、リゾート地ならではの開放的な雰囲気や、公共交通機関を利用した移動体験は、社会性や自立心を育む貴重な学習機会となった。また、目標となる大会の存在は選手にとって大きな励みとなり、日々の練習を積み重ねる意欲や得意分野の伸長につながることを実感した。競技に取り組む選手の姿は終始楽しげであり、誰もが参加し楽しめる大会であったと評価できる。さらに、応援者が熱心に選手を見守る姿も多く見られ、e スポーツが交流促進や自己成長の場として有効に機能していることを改めて確認する機会となった。加えて、今回の沖縄視察（体験）は、県外の選手にとって新たな経験と学びを得る非常に貴重な機会となった。大会の雰囲気や参加者の姿から、e スポーツが持つ可能性と教育的価値を改めて確認することができた。また、上述の通り、本州からの参加だと、必ず飛行機を使うことになる。今回、モニターとして参加した当事者 2 名も、非日常的な体験をすることにより、精神的にも非常に穏やかに過ごすことが出来た。

最後に、大会翌日の観光（平和学習）大変有意義なものだった。

#### <総括>

全体を通じて、初めての経験ではありましたが、大会当日の参加者全員の笑顔を見ることが出来、それまでの苦労があった言う間に消し去られました。一方、補助金に関する様々な手続きなどに翻弄されましたが、なんとか開催することが出来、この場をお借りしまして、改めて携わって頂いたすべての方々に感謝申し上げます。特に大会直前まで、一緒に連携・協力して頂いた沖縄広告様（元々は、沖縄広告様を中心に 3 者で協同体を構築しましたが、補助金を断念したため運営から離脱）に於かれましては、心より感謝申し上げます。

さて、このプログラムは、“くくる糸満”を知的・発達障がい者のための e スポーツの「聖地」として、毎年開催することを基本目標に掲げ、そしてその後はアジア大会まで拡大することを視野に入れております。今回、様々な困難がありましたが、「共催」の糸満市さまと一緒に開催できたことは大きな一歩となりました。障がいに優しい「糸満市」として、その象徴的なモノになれば、大変うれしく思います。また、これらのプログラムの他、全国の特別支援学校の先生方を中心とした「勉強会」なども並行して開催できるように、プログラム全体に厚みを持って参りたいと思います。

最後に、当協会の加盟団体であり、今回の実質的な運営を担って頂きました、琉球スポーツサポートの手登根様にも心より感謝申し上げます。

斎藤 利之（文責）



## □フォトギャラリー□

		
会場入り口	糸満市長挨拶	大会の様子 A
		
大会の様子 B	大会の様子 C	大会の様子 D
		
講演会の様子	スポンサー提供の様子 (永谷園 HD)	昼食の様子 (おにぎり)
		
Gorou 選手との対戦	集合写真 (最後)	司会 (手登根氏)

### 協賛企業様

●永谷園 HD 様